

# 第27回 「もったいない食器市」開催報告

持込み 2026年6月6日(土)・7日(日) 持帰り 6月14日(日)

持込食器：48.80kg リユース量：48.80kg リユース率 100%

## 今回のピカイチ実績

皆様からお持ち込みいただいた食器は、なんと**100%全量**がリユースされました！



### <参加者の声：持込み>

「捨てる罪悪感」を解消する場として、非常に高く評価されました。一方で、対象外となる食器（使用済み・ノベルティ）の処分に悩む声も聞かれました。

- ・捨てる罪悪感からの解放：いただき物で保管していた食器の処理に困っていた。捨てるのは相手に申し訳ないと思っていたため、このイベントのおかげで助かった。
- ・リユースショップ以外の選択肢：リユースショップでは引き取ってもらえなかった食器を、捨てることなく持ち込めて良かった。
- ・未使用・ノベルティ食器の盲点：景品やノベルティで集めた可愛い食器が結果的に不要になってしまったが、対象外（※注：イベント規定による）となり残念だった。
- ・使用済み食器の行方への悩み：一度使ったが趣味に合わず保管していた食器が多数ある。これらがイベント対象外となり、現状「もえないごみ」として捨てるしかないのが悲しい。

### <参加者・スタッフの声：持帰り>

食器の循環を楽しんでいただくだけでなく、次回の持ち込み（循環の輪）につながる前向きな声が集まりました。

- ・次回への参加意欲：会場の商品を見て、両親の自宅にある未使用の箱入り食器を有効利用できる場所だと確信した。10月に持ち込みたい。
- ・暮らしの潤い：気分転換に食器を交換することができて嬉しい。
- ・募金による循環：珍しい食器を、募金を通じて持ち帰ることができて嬉しい。

会場内では参加者同士の温かい交流や譲り合いが見られ、コミュニティの活性化や意識啓発の場としても機能していました。

- ・参加者同士のルール共有：持帰りの会場では、常連のお客様が初めて参加された方にルールを説明してくれる微笑ましい様子が見られた。
- ・譲り合いの精神：希望する商品が複数人で重なった場合、参加者同士がお互いに話し合いをして気持ちよく譲り合っていた。
- ・食育への貢献：プラスチックではなく「陶器・磁器」を日常で使う生活が、食育を行う上でいかに大切であるかを来場者に伝えることができました。